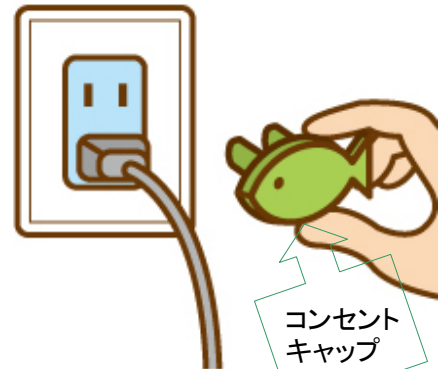


いたずら防止用コンセントキャップに過信は禁物

～外したキャップで誤飲事故に発展も！！～

子供がコンセントで感電しないように、コンセントキャップ（以下「キャップ」）がありますが、消費生活相談窓口には「8ヶ月の乳児がキャップを外して口に入れた」という相談が寄せられました。

キャップの使用についてアンケートを実施するとともに、0～2歳児18人を実際に集めて、キャップに対してどのように行動するのか、調査を行いました。



2歳児以上でいたずら防止効果はほとんど期待できない
目立つデザイン、明るい色は逆効果

キャップを取り外す乳幼児（行動調査）



【0歳児】

0歳児6人で
3種類外しました。



【2歳児】

2歳児6人で
28種類中25種類外しました。



【アンケート結果】

キャップを外した子供の4割が
口に持っていきました。

☆ 消費者への注意喚起

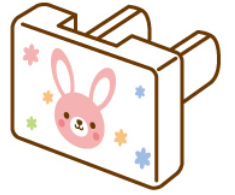
- 1 目立つデザイン、明るい色のキャップは、乳幼児の興味を引くおそれがあり、必ずしも安全対策にならないことを認識しましょう。
- 2 キャップをつけていても過信は禁物です。子供の行動に注意し、誤飲事故を防止しましょう。
- 3 コンセントに興味を持ち始めた子供には、感電の危険性について教えましょう。



☆調査結果の詳細は、ホームページに掲載しています
報告書「いたずら防止用コンセントキャップに関する調査」
<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>

【問合せ先】

生活文化局消費生活部生活安全課
電話：03-5388-3055



主な調査結果

1 消費者アンケート（報告書 P.8～18）

対象 都内在住で乳幼児(0歳～小学校就学前)を持つ保護者 (1,069人)

- ☆ キャップの使用経験 使用経験者は約 6 割 (P.10)
- ☆ キャップを外した割合・年齢
 - 使用経験者の 3 割以上は、子供がキャップを外したと回答 (P.13)
 - キャップを外した子供の半数以上は、生後 18 ヶ月未満であった。(P.14)
- ☆ 誤飲の危険性
 - キャップを外した子供のうち約 4 割は、キャップを口に入れたり、入れそうになり、生後 18 ヶ月未満の場合では半数超 (P.14)

2 乳幼児によるキャップ取り外し行動調査 (P.25～32)

対象 0歳,1歳,2歳の男児,女児 各3人 合計18人
使用キャップ 16商品 (28種類)

- ☆ 結果
 - (1) キャップ面の厚さや刃の形状に着目した調査 ～8種類～ (P.26～27)
 - 2歳児は 8種類中 7種類のキャップを外した。
 - すべての年齢の乳幼児が外したキャップは 1種類であり、全キャップのうち最小の力で外れるものであった。
 - (2) デザインに着目した調査 ～14種類～ (P.28～29)
 - 動物がデザインされた多色のキャップは、すべての年齢の乳幼児によって外された。
 - シンプルなデザインよりも、キャラクターが目立つものに興味をもつ傾向であった。
 - (3) 色に着目した調査 ～6種類～ (P.30～31)
 - 2歳児は 6種類すべてのキャップを外した。
 - オレンジ、ピンク、黄緑など明るい色に興味をもつ傾向であった。